

2020 年度通常粋草の根活動支援助成インパクトレポート

発行日 | 2023 年 3 月 31 日

発行者 | 公益財団法人 南砺幸せ未来基金



このレポートは休眠預金事業によって制作されています。

©2023 Japan Social Innovation and Investment Foundation. 本誌掲載の記事、写真、図等の無断転載、無断複写を禁じます。



2020 年度通常粋草の根活動支援助成

インパクトレポート



公益財団法人 南砺幸せ未来基金

# Impact Report

# 2020



公益財団法人 南砺幸せ未来基金   

〒932-0231 富山県南砺市山見 1739 番地 2 井波コミュニティプラザ「アスモ」2F  
TEL 090-9547-4760 FAX 0763-23-5043 E-mail nantokikin@gmail.com  
<https://www.nantokikin.org/>



目次

- 01 — 休眠預金事業とは
- 02 — 南砺市における休眠預金活用事業（2020年度）
- 03 — 団体紹介
- 03 — ①社会福祉法人マーシ園 引きこもりや精神障害があり孤立状態の人に社会参加の環境を創る
- 07 — ②株式会社ガラパゴス 桜ヶ池キャンプ場～キャンプ場における障がい者と引きこもりの方を雇用することにより社会に繋げる～
- 11 — ③なんとおせっ会 移住応援団 空き家対策・移住・定住促進事業
- 15 — ④テラまちコネクト お寺初！おかあさん目線の雇用創出事業
- 18 — 活動総括
- 19 — 南砺幸せ未来基金について

休眠預金事業とは

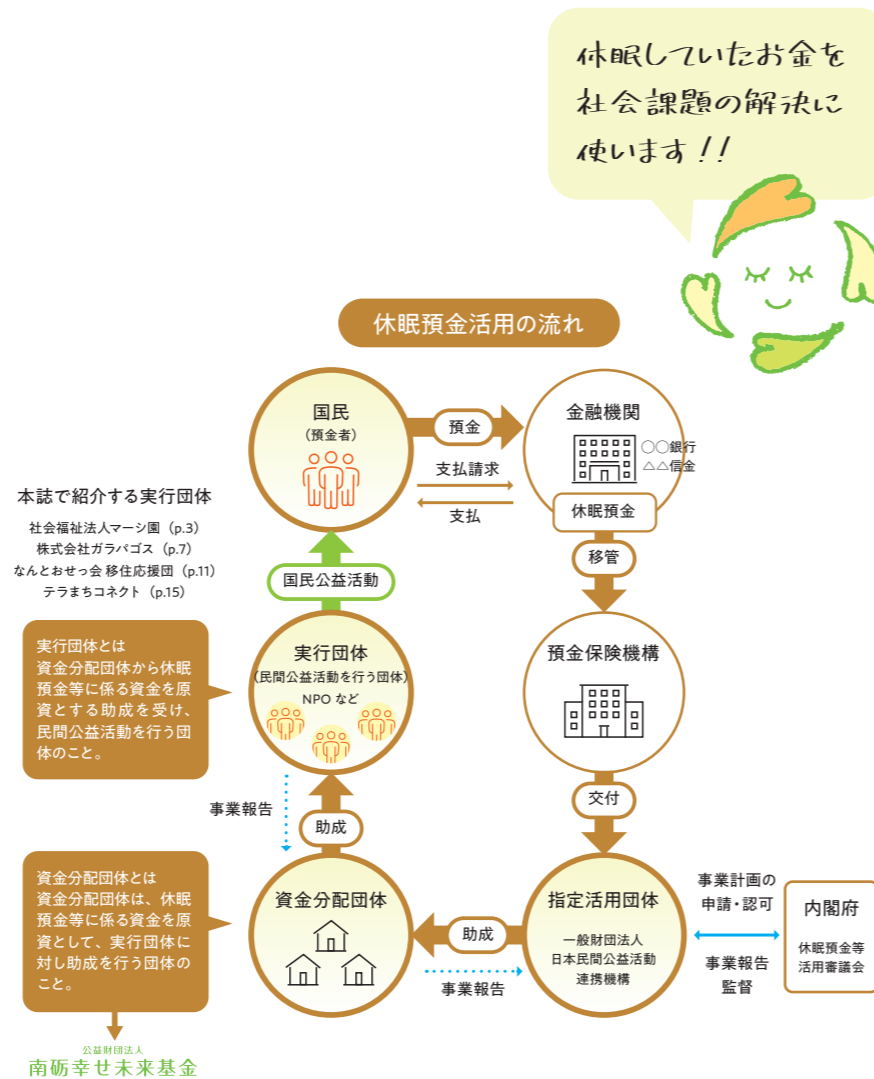
事業の概要

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（平成28年法律第101号）」に基づき、2009年1月1日以降の取引から10年以上、その後の取引のない預金等（休眠預金等）を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度です。



資金分配団体

当財団は、3地域でコンソーシアムを組み、休眠預金等活用の資金分配団体に採択されました。「(公財) 東近江三方よし基金（滋賀県東近江市）」、「(公財) うんなんコミュニティ財団（島根県雲南市）」



- ▶ 事業期間 2023年2月末日まで
- ▶ 助成金総額(ただし評価経費は除く) 29,066,500円
- ▶ 1団体あたりの助成額：500万円以上1,000万円以下

南砺市における休眠預金活用事業（2020年度通常枠の根活動支援助成）

優先的に解決すべき社会の諸課題

以下の1)～3)の領域について特定された7つの優先すべき社会の諸課題（下記参照）のうち、本公募により、助成する民間公益活動では、7つの諸課題は複雑に関係し合っているためのその全てを対象とします。実行団体は、事業を提案するにあたり、以下の優先すべき社会の諸課題から取り組む課題を選択して実施してください。

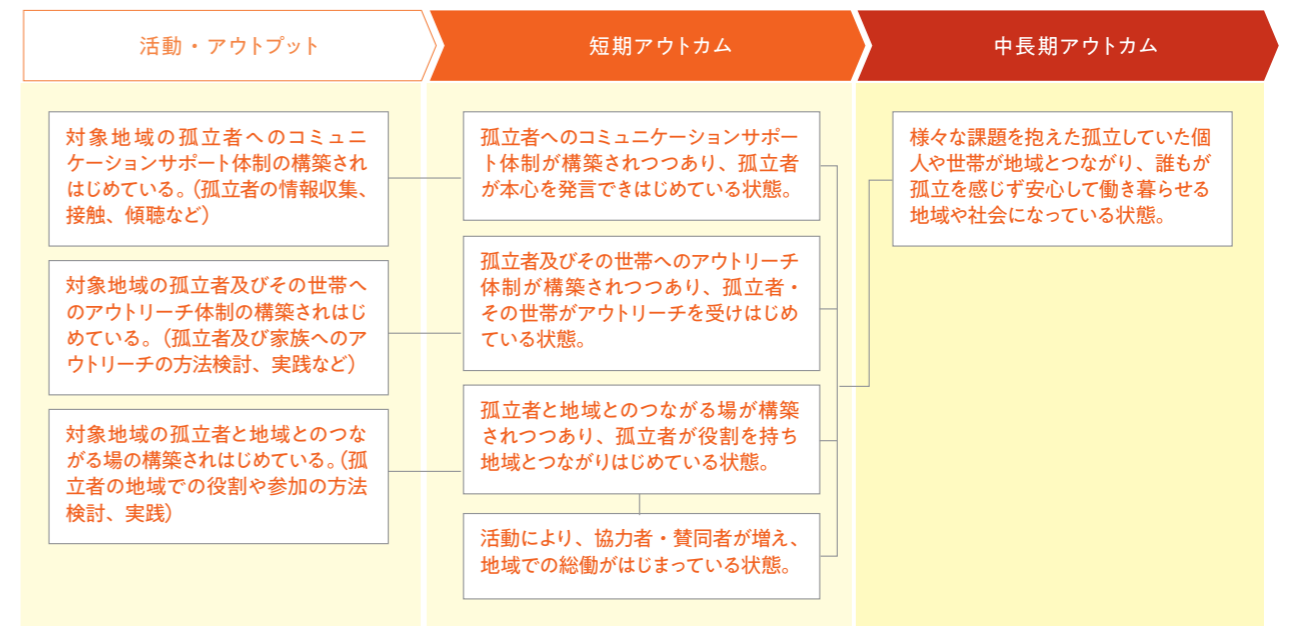
- ▶ 主題 ローカルな総働で孤立した人と地域をつなぐ
- ▶ 副題 日本の変革をローカルアクションの共創から実現する

3つの領域と優先すべき社会の諸課題



2020年度本事業ロジックモデル

本事業の助成期間は2021年度から2022年度の2年ですが、長期的な変化を見据えた取組の提案を期待して公募しました。助成終了時のゴール・成果（およそ2年後）を短期アウトカム、5～10年後程度の目指す地域像を中長期アウトカムとしています。





# 社会福祉法人マーシ園

設立 | 1959年12月 従業員 | 112人

代表者 | 理事長 豊川 寛 所在地 | 富山県南砺市谷 142 TEL | 0763-82-0490 (マーシ園八乙女) HP | <https://www.mercy-en.or.jp>

事業内容 | 慈愛(マーシ)の心で地域に根差した福祉を目指します。障害者支援施設、就労継続支援B型、地域活動支援センター、相談支援、グループホーム、ホームヘルプサービスを展開



## 社会課題

引きこもりや精神障害に対応できる事業所が少なく、支援者が不足している。また、孤立者が相談を受ける場所や、成功体験ができる場所が整備されておらず、孤立者を「我がこと」として捉えない風土がある。よって、関係機関の総働でこの問題を解決する枠組みづくりを行い、地域で支え合う意識の醸成が必要である。



### 事業を実施する意義

- 1 休眠預金を「てこ」にして、制度の狭間にある「引きこもりや精神障害により孤立化した方」を支援する。
- 2 一人でも多く孤立者が、社会参加や一般就労または福祉的就労を経た自己実現に向けた支援を展開する。
- 3 孤立者や地域住民が元気になる、豊かな暮らしと幸福を感じられる街づくりの一助となる。

### 主なアウトプット・アウトカム



相談窓口の設置

1 か所

(令和5年2月現在)



地域との連携

モデル 4 地区

地域づくり協議会ほか  
民生委員

(令和5年2月現在)



居場所の設置

2 か所

(令和5年2月現在)



講演会参加者

のべ 400 名

(令和5年2月現在)

## 事業概要

様々な課題を抱えた孤立者や家族が地域とつながり、安心して暮らせる社会を創る。

### 引きこもりや精神障害があり

#### 孤立状態の人に

#### 社会参加の環境を創る。

- 1 引きこもりや精神障害者と家族を地域で支え、社会に繋ぐ組織を創る。
- 2 支援の実践を通し、各組織や個人の連携と支援能力の向上を図る。
- 3 支援機能の改善や創設を通し、関係者の意識と行動の変容を促す。

### 実施時期

2021年3月～2023年2月

### 直接的対象

15名 引きこもりや精神障害があり孤立している方およびその家族

### 間接的対象

40名 地域住民  
南砺市民生委員児童委員協議会  
地域づくり協議会委員

## ロジックモデル



● **インプット／関係図**



- ・ピアサポートあい
- ・マーシ園八乙女
- ・木の香・すてっぷ
- ・なんと共同作業所
- ・南砺市社会福祉協議会
- ・なんと未来支援センター
- ・南砺市医師会
- ・手をつなぐとなみ野 南砺事業所
- ・溪明会・花椿
- ・みんなの台所

- ・南砺市民生委員児童委員協議会
- ・南砺市地域づくり協議会連合会 南砺市福祉課
- ・富山県立となみ総合支援学校
- ・富山県砺波厚生センター



- ・パソコン
- ・プリンター
- ・携帯電話 タブレット端末
- ・Zoom会議システム

● **事業をふりかえって**

引きこもりや精神障害の人々への支援不足や社会参加の困難さが問題とされています。現在、適切な事業所や支援者が不足しており、孤立者が相談や成功体験のできる場所も不足しています。この問題を解決するために、次の取り組みを行いました。1) まず、引きこもりや精神障害に関する講演会や関係機関との情報交換会を実施し、引きこもりや孤立状態にある人々の調査を行いました。2) その結果をもとに、孤立者を支援する組織を構築し、相談窓口を設けました。さらに、

彼らを理解するためのアセスメントを行いました。3) また、気軽に立ち寄れる居場所をつくり、日中の活動への参加を促す取り組みを行いました。さらに、居場所では余暇活動だけでなく、就労体験の機会も提供しました。これらの取り組みを通じて、孤立者が社会参加や就労を通じた自己実現を達成することを目指し、引きこもりや精神障害者だけでなく、地域住民全体が元気になる、豊かな暮らしと幸福を感じる街づくりに貢献することを目指しています。



中盛京子 さん

山田浩司 さん

▶ **ミライサポートあい（ピアサポートあい）**

**手を握る**

- ◆ 引きこもりや精神障害に関する講演会（2回）
- ◆ 関係機関との情報交換会（11回）
- ◆ 引きこもりや孤立状態にある人を調査（4地域）

**手を握り続ける**

- 1) 相談・アセスメント
- 2) 日中活動薪割、草むしりなど

**地域につなげる**

就労体験  
(就労場所の提供)

▶ **訪問**

- ◆ 自宅訪問によるコミュニケーション

つながった対象者数自宅訪問 2人、アセスメント 5人、日中活動 4人、就労体験 2名

● **エピソード**

▶ **将来への方向性を模索する日々!**

私は 17 歳の時、高校を退学し、家に引きこもる日々が続きました。そんな時、お父さんがミライサポートあいという支援組織に連絡を取ってくれました。彼らとの話し合いを通じて、心が落ち着いてきたんです。その結果、再び高校に戻りたいという思いが芽生えました。ミライサポートあいのサポートのもと、受験勉強に取り組みましたが、定時制の学校への挑戦は叶いませんでした。その後、バイトをすることも提案されました。最初はお父さんが不安そうでしたが、説得してバイトを始めました。現在は週に 3 回、バイト

先で働いていますが、週に 1、2 回はミライサポートあいに顔を出しています。成人式が近づいていますが、私は将来への方向性を模索する日々を送っています。



**団体概要 社会福祉法人マーシ園**

▶ **団体の目的**

社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めつつ地域社会に貢献する取組みとして、地域住民、地域の障害者世帯、経済的に困窮する者等を支援するため、無料または低額な料金で福祉サービスを積極的に提供する。



施設外観

▶ **団体の概要・活動・業務**

第一種社会福祉事業	第二種社会福祉事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者支援施設の経営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害福祉サービス事業の経営</li> <li>・ 相談支援事業の経営</li> <li>・ 移動支援事業の経営</li> <li>・ 地域活動支援センター事業の受託</li> </ul>



作業風景



実行団体 No.02

# 株式会社ガラパゴス

設立 | 2020年9月 従業員 | 5人

代表者 | 代表取締役社長 前川 和人 所在地 | 富山県富山市五福 5436-1 TEL | 076-482-3977 HP | <https://galapagoslife.jp>

事業内容 | アウトドアグッズ販売、アウトドアイベント開催、イベント企画・運営など



## 社会課題

施設外就労の一般的な作業の賃金が低い。仕事のある時期と無い時期の差が激しい。ひきこもりの方の社会復帰。各世代の人々の直接的接点が生まれる場が少ない。社会福祉協議会が、日常生活自立支援事業としての忘れのある高齢者（認知症高齢者）、知的障がい者、精神障がい者等の方で、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理を、自分ひとりの判断で行うことに不安のある方に対して定期訪問、金銭管理サービスを行なっている。しかし、社会参加や地域住民との交流、就労への支援は不十分である。

### 事業を実施する意義

- 1 休眠預金制度で取り組む事により、より多くの企業や地域住民と関わりを持ち地域の中で良い循環を作り南砺ブランドの向上が計れる。



薪割作業ミーティング



薪割り機



薪割り用の薪

## 主なアウトプット・アウトカム



就労者数

4名

(令和5年2月現在)



通年就労の創出

2か所

(令和5年2月現在)



対象者の居場所

1か所

(令和5年2月現在)



相談体制の構築

1か所

(令和5年2月現在)

## 事業概要

桜ヶ池キャンプ場において障がい者とひきこもりの方を雇用することにより社会に繋げる。

### 桜ヶ池キャンプ場を利用して

障がい者施設の施設外労働およびひきこもりの方、地元住民の働く場所を創出するコミュニティづくり

- 1 地元企業から材料を仕入れ、薪の製造販売。
- 2 地元柿農家の剪定枝の回収し炭化加工後、堆肥としての販売。
- 3 炭素循環型農法の普及推進。

### 実施時期

2021年3月～2023年2月

### 直接的対象

5名 障がい者施設の利用者、ひきこもりの方

### 間接的対象

20名 対象者の家族や地域住民

## ロジックモデル



インプット／関係図



- ・チューモク
- ・北酸株式会社
- ・南砺地域の障がい者施設
- ・南山田地域づくり協議会

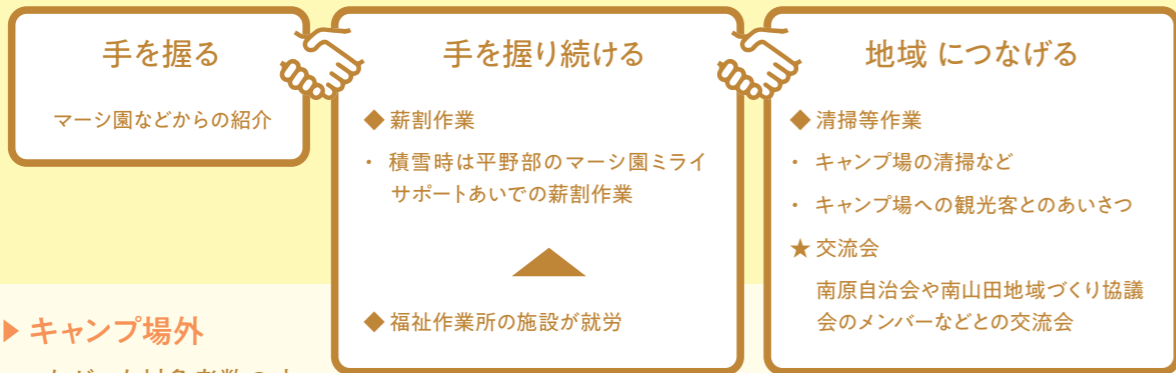


- ・資機材
- ・炭化装置
- ・薪割り機
- ・運搬車輛



- ・もの
- ・お金

▶ 桜ヶ池キャンプ場



▶ キャンプ場外

つながった対象者数 3人

エピソード

▶ 穏やかな時間を過ごす!

**EQUIPEエキップツアー**  
（社）日本ポールウォーキング協会認定ガイド同行♪  
現地集合! 桜ヶ池ウォーキングツアー&ガラパゴスキャンピングパークBBQランチ♪

ポールウォーキングって?  
ポールをつかって歩くことで歩く勢がよくなり、膝にかかる負担も減らす。快適なヘルスウェアです。もちろん専門ガイドがそばにいらして、お困りなところをサポートさせていただきます。普段メルゲッポウォーキングをされている方が、多量も大歓迎です!

お申込みはHPもしくはTEL076-422-6333へ!!  
設定日 令和4年6月4日(土)日帰り 募集(5月28日(土)迄)  
ツアー料金: 大人@5,000円 小人(4歳~小学生)@2,500円  
※3歳未満無料、ポールレンタル希望の方は別途500円追加となります

◆ ツアー内容 ◆  
9/5(土) 桜ヶ池公園駐車場 (9:45集合・受付 各自駐車場利用)・・・  
桜ヶ池公園ポールウォーキング♪ (10:00~11:15)  
ガイドが随行し周遊約3キロを休憩しながらゆっくりと散策♪  
とやまの農家がお届けする!!【バーベキューランチ】(11:30~お食事後自由散策)  
カラハコスキャンピングパーク全天候型BBQ設備利用(1車4名、グループ様毎のご案内です)  
※新型コロナウイルス感染症防止ガイドラインに準じて実施。当日は地域の感染状況や手洗いや消毒にご協力をお願いします。

私は集中力が低下し、注意を維持することが難しく、感情のコントロールも困難であり、怒りやイライラを表現するなどの性格的な特徴がありました。このため、他の人との円滑な関係を築くことが難しく、引きこもりがちな生活を送っていました。そんな中、担当の相談員から桜ヶ池キャンプ場で薪割作業を紹介されました。薪割作業はキャンプで使用するとき火のために薪を製造・販売する仕事でした。桜ヶ池の自然環境の中で行われるこの作業は、失敗が少なく、成果物が具体的に形になるため、楽しく取り組むことができました。最近では、キャンプ場の清掃も頼まれるようになりました。自然な雰囲気の中でキャンプ場のスタッフや利用者や挨拶を交わす機会が増え、穏やかな時間を過ごすことができました。



キャンプ場散策

事業をふりかえって

薪の製造販売を通じて、地域社会の働きにくい方の雇用の創出、地域社会の孤立の解消を目指す。これが新たに取り組んだ事業のねらいでした。ガラパゴスは 2020 年から南砺市城端の桜ヶ池の自遊の森キャンプ場の取得に向けて動き始めると同時に、キャンプ場経営にあたり、障がい者と取り組む新事業の準備を始めました。毎年約 100 億円発生すると言われる国民の休眠預金を社会問題の解決や民間公益活動のために活用するという制度を使って、高齢者、障害者、引きこもりの方々の孤立解消を目指すこの制度の存在を知り、基金への応募を決めました。この事業により、金銭面だけでなく南砺市の地域社会とのつながりも増え、キャンプ場事業との相乗効果をもたらしています。2021 年 12 月より薪割り事業を開始し、現在地域の障害者施設や市の福祉施設

の紹介でなかなか仕事をする事ができなかった方々を受け入れ、順調に作業を進めています。これからも社会問題の解決につながる取り組みをすすめ、キャンプ場という場所が地域社会にとってのコミュニティスペースとなるよう、引き続き活動を続けて行きます。

このキャンプ場は、雇用の創出などの様々な社会問題の解決につながるような活動をし、幅広い年代の皆さんに楽しんでいただける施設を目指しています。



代表取締役社長 前川 和人 さん

団体概要 株式会社ガラパゴス

▶ 団体の目的

関わる全ての人々が豊かになる仕組み作りをする。特に、雇用の創出、高齢化事業の継承、地域のコミュニティ作りを力注いでいく。コロナ禍で立ち上げた当社はどんな環境にも柔軟に変化し、独自の進化を遂げ、世代が変わっても長く続く会社を目指し、富山県ではめずらしい募集型登記という方法で立ち上げた。多くのファンを作り、関わった全ての方が豊かになる仕組みを作る。

▶ 団体の概要・活動・業務

健全者も障がい者もその人の能力に適した就労環境を整え、企業としての社会貢献と共に事業の継続をめざす社会的企業。富山市五福にて、学生や企業の経営者など幅広い人々のコミュニティの場となる飲食店の経営。高齢化のため、継続困難となった八百屋の事業継承なども手掛ける。



管理棟



環境問題や障がい者雇用に取り組む

アウトドア事業部	バレル富山	薪小屋
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトドアグッズの開発・販売</li> <li>・キャンプ場の運営</li> <li>・野外イベントの開催 など屋外を楽しむ活動</li> </ul>	南砺市から事業継承した桜ヶ池キャンピングパークにて壮大なロケーションのキャンプ場併設サウナ施設を運営	薪割りや、草刈り等障がい者や引きこもりの方々の働く場を提供



実行団体 No.03

# なんとおせっ会 移住応援団

設立 | 2020年8月 従業員 | 2人

代表者 | 団長 山田 由理枝 所在地 | 富山県南砺市北川128-6 (株) ゆうゆうトラベル内 TEL | 0763-82-6672 HP | https://nantoijyuu.com

事業内容 | 南砺市における移住・定住を推進し、南砺市の活性化を図る。空き家対策、移住応援、補助金申請支援



## 社会課題

空き家予備軍の一人暮らし老人宅等がそのまま空き家となり、年数が経ち老朽化していく傾向が強い。放置されると環境悪化に繋がり防犯等も含め地域住民に不安をもたらしている。また、近年、都市部からのUターンや移住に対する関心が高まる中、空き家の有効利用による地域全体での受け入れ体制作りが必要である。南砺市には独居老人宅と65歳以上の高齢者夫婦世帯がそれぞれ約2,500戸あるが、空き家となり長年放置される傾向が強い。この状況は今後も増えていくと想定される。

すでに空き家となっている建物は約1,000戸あり、持ち主が他県・他市に住んでいる場合などは連絡が取りにくい。持ち主自身も相続の問題や登記手続きの難しさもあり放置している場合が多くみられる。放置された状態が続くと、草木が隣の家まで侵入したり、虫の被害が出たり、のら猫等が住み着き近隣への被害が出ている場合もある。

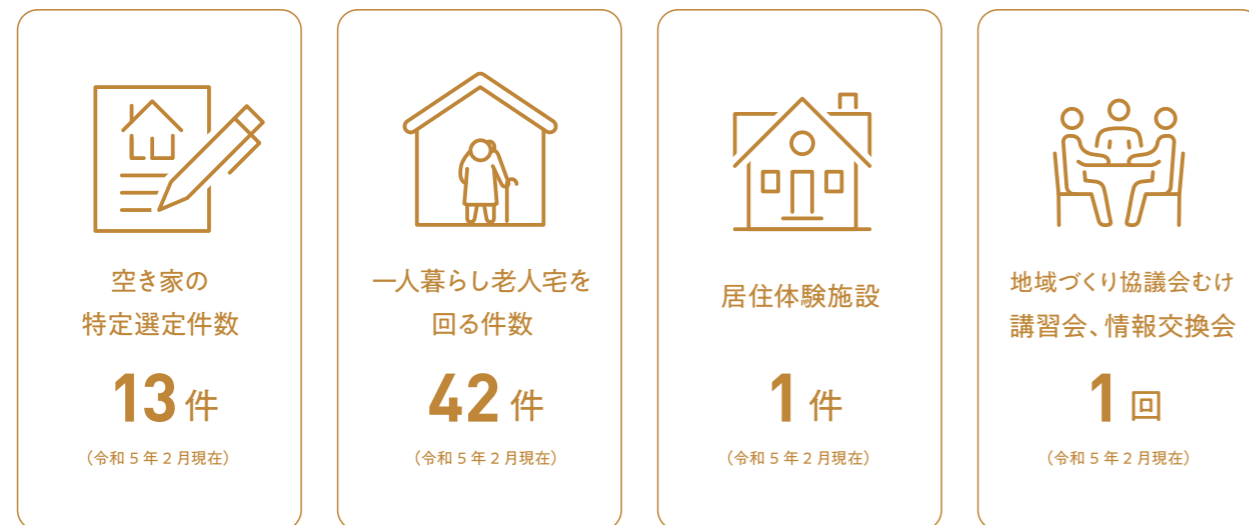
さらに、都市部からのUターン・移住希望者が増えているものの、住居・就業・環境の面から移住を決断できない場合が多い。南砺市が誕生した2004年の人口約59,000人から、2020年12月現在で約10,000人が減少しており、何の対策もしなければ30年後の2050年には約50%の減少が見込まれている。

### 事業を実施する意義

- 1 行政・不動産業者・地域住民の間を取りもち、連携・対話を繰り返すことを通じて、空き家への意識を高める。
- 2 全国の移住希望者が安心して南砺市に移住できる体制を整える。
- 3 各地域の防犯等も含めた環境維持と共に暮らしやすい地域を作り、人口の減少抑制につなげる。



## 主なアウトプット・アウトカム



## 事業概要

一人暮らしとなった高齢者は、地域の活動とも疎遠になり孤立しがちである。また、空き家予備軍の住宅がそのまま空き家となり、年数が経ち老朽化していく傾向が強い。近年、都市部からのUターン・移住に対する関心が高まっているが、就労等の問題で地方の移住が決断ができない場合も少なくない。また、移住したものの、地域との繋がりを作れないまま孤立している場合がある。このような課題に対し、空き家予備軍の一人暮らし老人には戸別訪問を通して信頼関係を築き、有効利用できる意思を持ってもらう。また、Uターン・移住希望者には地元企業と連携したオンラインマッチング事業等を通して、安心して移り住んでもらえる環境を整える。この双方の孤立を繋ぎ、住居を生きたまま次の世代へと引き継ぐことで地域の活気や環境を守り、地域住民の幸せに繋げる。そのためには地域をよく知る地域住民が対話を通じて「おせっ会」となり、様々な団体・活動を巻き込み地域総動で活動することが重要である。

### 一人暮らし老人と移住者、双方の孤立を防ぎ、次世代へと引き継ぐ

- 1 空き家予備軍の一人暮らし老人の戸別訪問を通じた信頼関係づくり
- 2 地元企業との連携によるUターン・移住希望者向けオンラインマッチング事業
- 3 地域の方々との対話を通じた連携によって「おせっ会」活動を広げる

### 実施時期

2021年3月～2023年3月

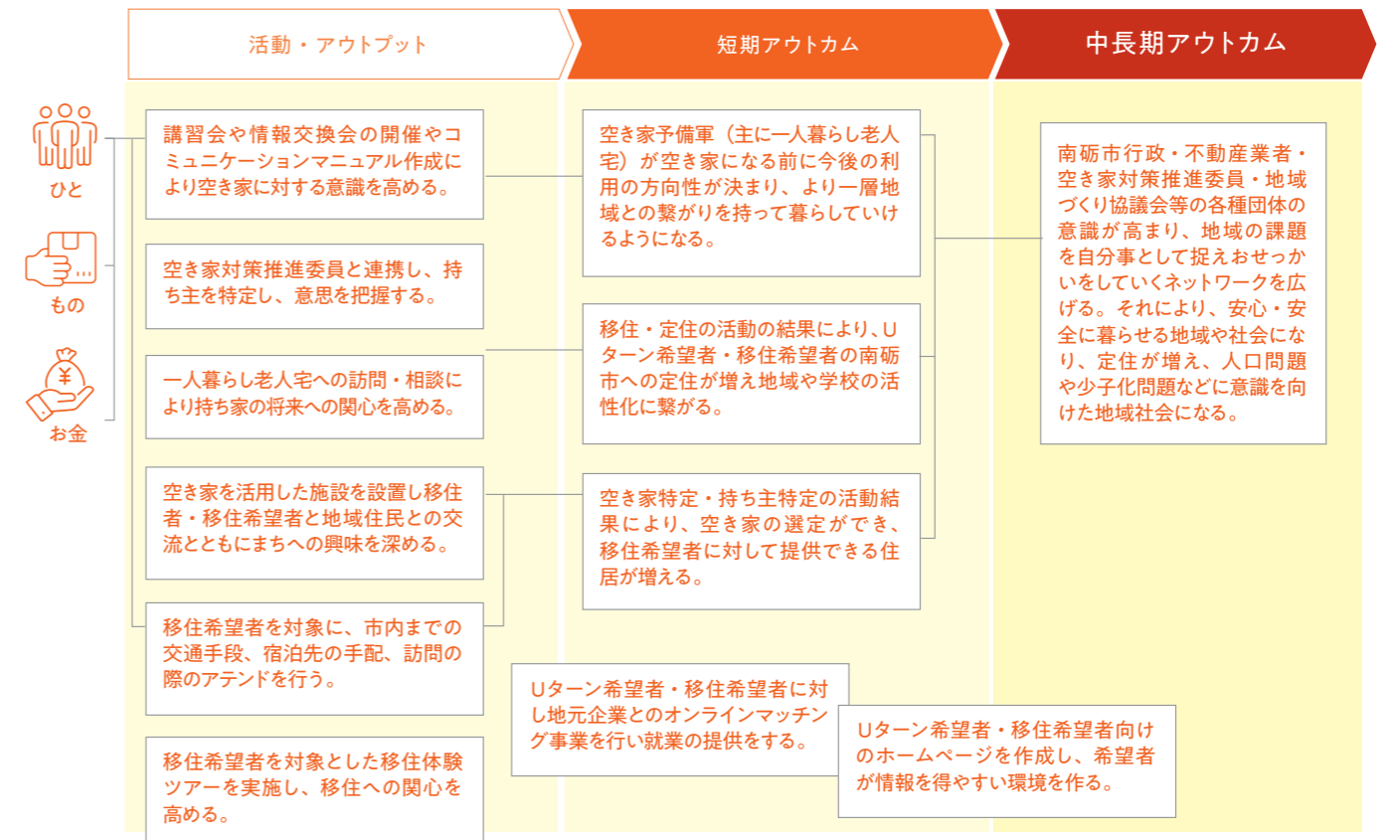
### 直接的対象

一人暮らし老人 約2,500名  
Uターン希望者 約300名  
移住希望者 約500名

### 間接的対象

南砺市全人口 約50,000名  
(南砺市各地域、近隣市の企業)

## ロジックモデル



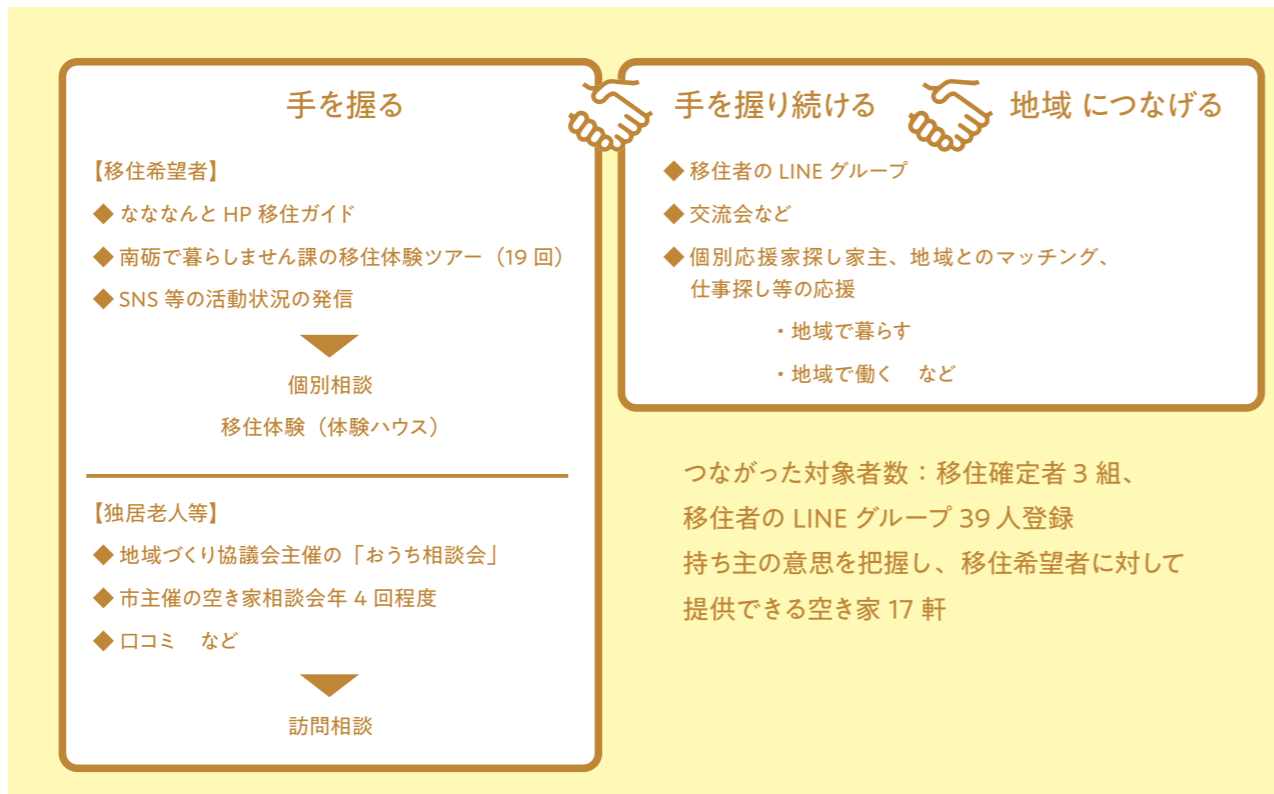
● インプット／関係図



- ・地域住民
- ・空き家対策推進委員
- ・地域づくり協議会
- ・宅地建物取引業協会 砺波支部
- ・南砺市の次世代を担う若手



- ・パソコン
- ・ホワイトボード
- ・モニター
- ・ミーティングスペース
- ・車両



● エピソード

▶ 南砺に移住して本当に良かった！

富山市に住んでいた私たちは、自然栽培で農作物を育て、収穫したものを料理して提供する Vegan カフェを開業することを考えていました。南砺市で空き家を探していると相談すると、移住応援団の方々が親切に手助けしてくれました。いくつかの物件を紹介していただき、その中の1軒が、私たちが今住んでいる家でした。初めてこの家に足を踏み入れた時、子どもたちは自分たちの家のように駆け回り、以前の持ち主であるおばあちゃんとも初対面のような感じはしませんでした。子どもたちもおばあちゃんに最初からなっていました。家の中の蔵や納屋も全て見て回り、ここが気に入ったので即座に購入することを決めまし



た。令和4年に南砺市へ移住し、近所の大工さんの手を借りながら家族でリノベーションを進めました。また、農地も借りて自然栽培で農作物を育て始めました。そして令和5年3月に Vegan カフェをオープンしました。カフェで最近マルシェを開催したところ、約100人の人々が訪れてくれました。南砺に移住して本当に良かったと心から感じています。

● 事業をふりかえって

南砺市では人口減少により空き家が増加する傾向があり、特に所有者が他県・他市にいる場合は管理が行き届かないものが見られます。また、独居老人宅や高齢者夫婦世帯が増加し、将来的には空き家となる可能性がある空き家予備軍も増えています。同時に、都市部からのUターンや移住希望者も増えていますが、移住の障壁が存在し、なかなか決断できない状況も見受けられます。

このような状況に対応するため、一人暮らしの高齢者との信頼関係構築や、空き家予備軍の有効活用を促進するとともに、また地域全体での移住支援体制の整備に取り組んでいます。これにより、地域の活力と環境を守ることを目指します。



おうちの将来に不安がある方はご相談下さい！

山田 由理枝 団長

長谷優 さん

南砺市でゆったりとした田舎暮らしをしてみませんか？

● 団体概要 なんとおせっ会 移住応援団

▶ 団体の目的

「地域の孤立を防ぐのは地域のおせっかいを増やすこと」を念頭に、地域の新たな生活上の困難を抱える人々や、行政が対応困難な社会的課題の解決に向けていく。そしてさまざまな地域の事象を丁寧に対話しながら各種団体と連携をとることにより、地域住民の自主性を高め総働で暮らしやすい地域を作っていくことを目的とする。

▶ 団体の概要・活動・業務

空き家関連	移住希望者支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の空き家、空き家予備軍(独居老人宅)を把握</li> <li>・お一人住まいの高齢者にヒアリング</li> <li>・南砺市の住まいに関する補助金申請のサポート(空き家所有者、移住者)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住相談者へ空き家を紹介(アテンド)</li> <li>・未来支援センターと共同で移住体験ツアー等開催</li> <li>・移住者同士の交流</li> </ul>







実行団体 No.04

# テラまちコネクト

設立 | 2020年4月    スタッフ | 10人  
 代表者 | 代表 齊藤優華    所在地 | 富山県南砺市井波 3050 井波別院瑞泉寺内    HP | [https://www.instagram.com/inami\\_kawaiitrip](https://www.instagram.com/inami_kawaiitrip)  
 事業内容 | オリジナル商品販売や地元住民の憩いの場となる「テラまち雑貨店」の運営。



## 社会課題

女性の継続就業率が上昇する一方で、第一子出産を機に離職する女性の割合は依然として高く、仕事と子育ての両立への負担が女性の就業継続の大きな障壁となっている。正規職員の継続就業率は産休や育休の取得を奨励することで上昇しているが、非正規職員の継続就業にはなかなか結びつかない。また育児中の女性で就業を希望している者は多いものの、現状は求職活動をしている者が少ないことは課題である。

### 事業を実施する意義

- 1 地域の未来を開拓する実践者を育てるために作ってきたおみやげの製造販売の段階に入る。
- 2 子育て中の女性は地元出身者、市外・県外から来た人もおり、地域の魅力を多様で新鮮な視点から発信できる。
- 3 こうした特性を持つ人材が働きやすいまちづくりのモデルとして全国に発信できる。



テラまち雑貨店グランドオープン (2022年4月24日)

## 主なアウトプット・アウトカム

女性の居場所  
**1** 件  
(令和5年2月現在)

イベント・ワークショップ  
**31** 件  
(令和5年2月現在)

イベント・ワークショップ人数  
**190** 名  
(令和5年2月現在)

運営に関わった女性  
**12** 名  
(令和5年2月現在)

## 事業概要

子育て中の女性が楽しく  
 地域とつながりながら働ける場所をつくり  
 多様な視点と多様な手段で情報を発信する

実施時期  
 2021年3月～2023年2月

- 1 子育て中の女性が楽しく働きながら地域とつながる場所を提供する。
- 2 商品開発を通じたジョブトレーニングおよび情報発信方法の学習機会を提供する。
- 3 子育て中の女性の個性と特技を活かして地域の人々と交流できる場をつくる。

直接的対象  
**5～10** 名    井波地区、南砺市内に暮らす子育て中の女性で働く場がない人たち

間接的対象  
 南砺市の生産年齢人口の女性 **12,671** 名  
 全国の子育て中の女性 (インスタのフォロワー) **1,000** 名

## ロジックモデル



● インプット／関係図



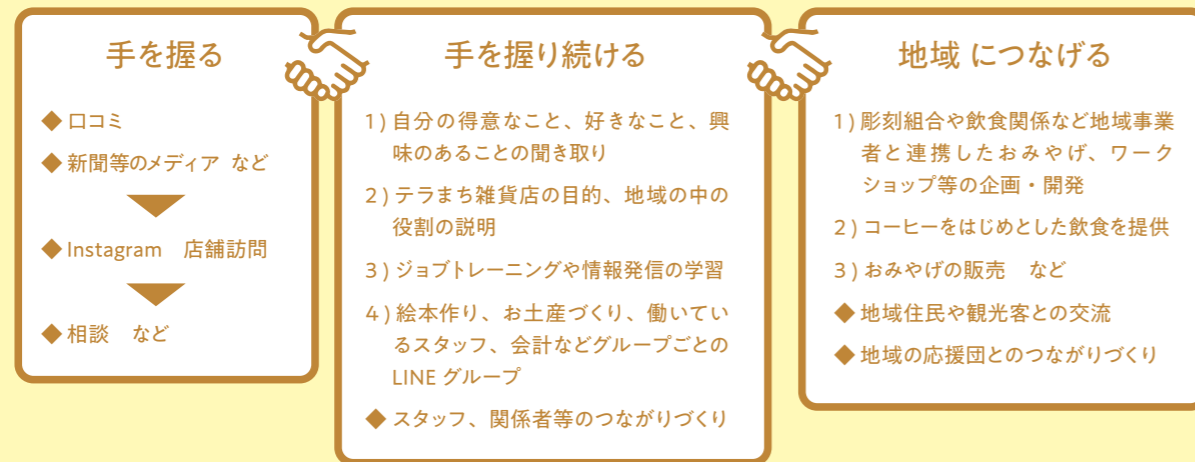
・事業の中で必要になる学びの確保のために、リノベーション、情報発信、就労支援など 様々な分野の専門家（株式会社コラリアルチザンジャパンや studio-L 等）と連携しながら、最大の成果を生むようにする。



・おみやげ販売にかかる機器（iPad 等）



▶ テラまち雑貨店店舗、Instagram



つながった対象者数：テラまち雑貨店スタッフ 12 名、Instagram フォロワー 1,000 人程度

● 事業をふりかえって

女性の継続就業率は上昇していますが、第一子出産後の離職率が高い課題があります。正規職員は育休の取得により改善されていますが、非正規職員には影響がありません。子育て中の女性は社会とつながりたいと思っていますが、求職活動が少ないのが問題です。そこで、女性が楽しく働きながら地域とつながる場所を提供し、おみやげの製造・販売を通じて井波の魅力や歴史を学び、情報を発信して孤立を減らしたいと考えます。具体的には、おみやげ製造・販売、ワークショップができるように、ジョブトレーニングや情報発信の学習機会を提供しました。柔軟な働き方も可能にしました。また、瑞泉寺山門の外側の売店を改装して地域の人々と交流できる場所になりました。井波は観光の拠点なので、広く発信しファンを増やしています。子育て中の女性の視点で SNS を活用し、写真撮影や顧客対応、商品発送などを学ぶプログラムを提供し、女性の個性と特技を活かした働く場となりつつあります。



みんな楽しいことを一緒にやってみませんか？  
とあなたもお気軽に  
お越しください



齊藤 優華 代表

● エピソード

▶ 子育てをしながらも輝ける環境をつくりたい！

子どもを保育園に預けており、保育園から瑞泉寺についての話を聞き、気になっていました。私はお菓子づくりが得意で、体に良いものをつくっていました。そのため、誘いを受けてスタッフとして関わることにしました。お菓子づくりだけでなく、様々な人との会話も楽しんでいました。井波に興味を持ち、子供が卒園するタイミングで井波に引っ越しました。瑞泉寺にも関心を持ち、太子伝や鯖寿司づくりにも参加しました。その結果、地域の人々とのつながりも広がりました。これまでに、私は多くの人々に支えられました。その経験から、人々とのつながりや支え合いの大切さを痛感しました。私は、テラまちでスタッフとして関わっていますが、まだ地域には同じような女性が多く存在していることに気がきました。私は自分の経験や能力を活かし、地域の女性たちを支援し、彼女たちが輝ける環境をつくりたいと思っています。



テラまち雑貨店太子伝会



ママお茶会

団体概要 テラまちコネクト

▶ 団体の目的

井波に暮らす人たちが楽しく日常生活を送ること、その暮らしを域外から訪れた人たちも楽しめるようにすること

- ①地域の魅力を住民自身が再発見し、井波の日常生活を旅してもらうためのしくみをつくる
- ②井波のまちの起となった瑞泉寺を人々に身近に感じ、育った郷土を誇りに思ってもらえるようにする
- ③井波彫刻をはじめとした地域の魅力的な伝統工芸品や歴史を日常生活になじむようにリデザインし発信する

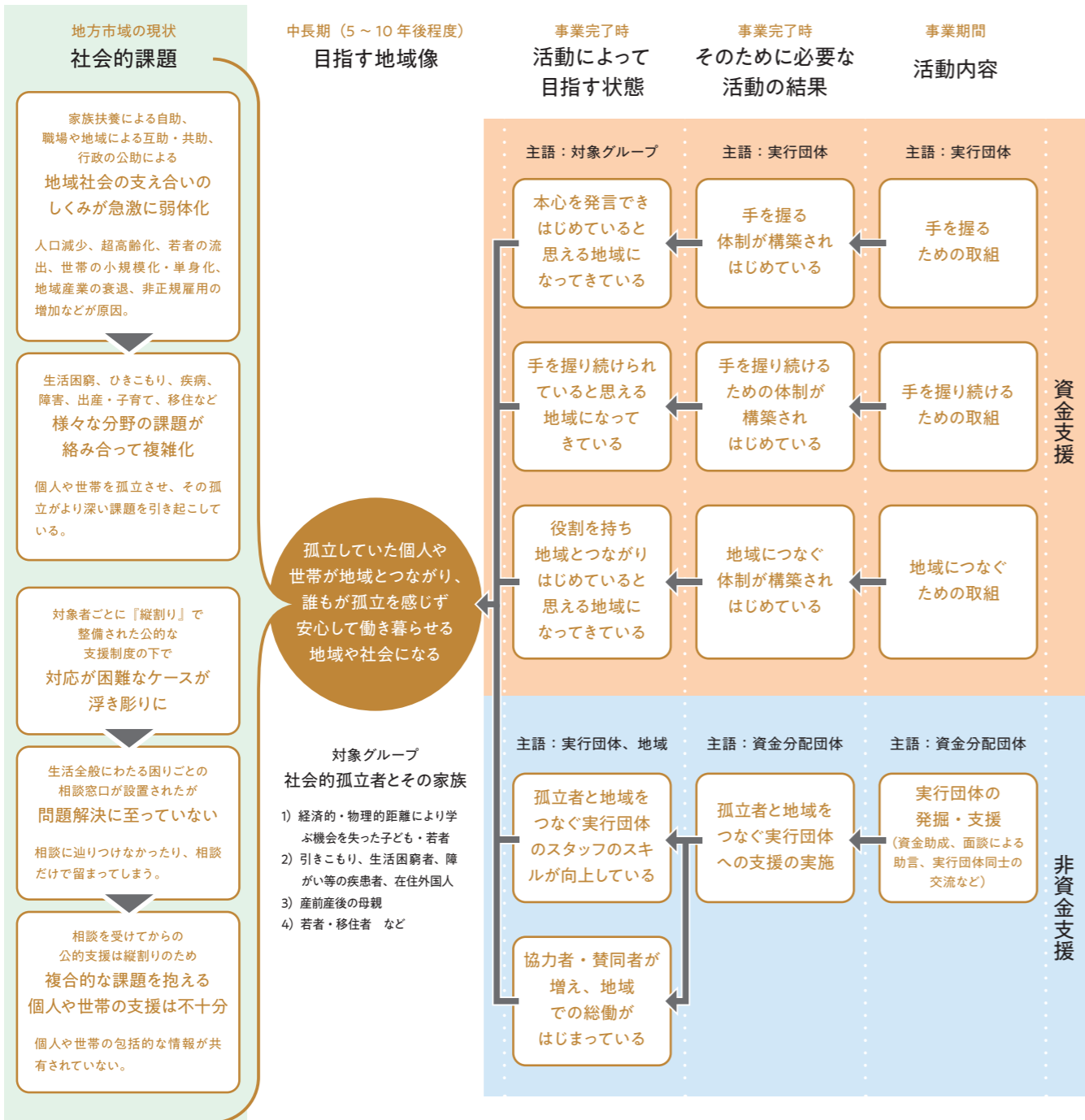
▶ 団体の概要・活動・業務

事業内容

- ・地域住民がともに「ものがたりのあるおみやげ」を商品化し、販売に向けて取り組んでいる。



HUN 事業概要図



公益財団法人  
南砺幸せ未来基金  
Nanto Local Fund

南砺の100年後へ

「ひと」と「未来」を  
つなぐ

代表挨拶



代表理事 南真司

南砺市は長い歴史と優れた芸術文化及び美しい自然にも恵まれ、生活を支える地域包括ケアも整っています。しかし、超高齢化と少子・人口減少が進行し、暮らしの安心と次世代を担う若者達の活躍の場の創造が必要です。暮らしの安心は住民がお互い様で支え合う小規模多機能自治で、若者達の活躍の場は地域や社会課題を解決する事業や取組で構築します。南砺幸せ未来基金は資金面から専門的に支援し、住民・事業所と行政等の相互信頼を構築し、地域課題解決の取組を応援します。非資金面を支援する「なんと未来支援センター」と共に活動し、愛着と誇りある南砺市を次世代に引き継ぎます。

自立循環共生型の未来へ

公益財団法人 南砺幸せ未来基金は、南砺に暮らす人々が支えあい、自然と共に持続可能な循環型社会が構築できるようにという願いのもと、2019年に一般財団法人、同年12月に公益財団法人として設立されました。南砺幸せ未来基金を通し、なんと未来支援センターと協働しながら、人と人をつなぎ、支えあう地域の力を育て、より元気な未来の南砺へつなごう。

設立経緯

平成 29 年 (2017 年) 6 月	まちづくりファンド設立準備会
平成 30 年 (2018 年) 1 月	南砺幸せ未来基金設立準備会
平成 30 年 (2018 年) 4 月 ～平成 31 年 (2019 年) 1 月	基金設立のための寄付募集。275 名より 3,230,000 円の寄付金
平成 31 年 (2019 年) 2 月 1 日	一般財団法人南砺幸せ未来基金設立
平成 31 年 (2019 年) 3 月 30 日	南砺の幸&未来を創るキックオフフォーラム開催
令和元年 (2019 年) 12 月 1 日	公益認定を受け、公益財団法人南砺幸せ未来基金設立

実行団体概要と採択時助成額

実行団体名	なんとおせっかい 移住応援団	テラまちコネクト	社会福祉法人マーシ園	株式会社ガラバゴス
事業名	空き家対策・移住・定住促進事業	お寺初！おかあさん目線の雇用創出事業	引きこもりや精神障害があり孤立状態の人に社会参加の環境を創る	桜ヶ池キャンプ場～キャンプ場における事業で、ひきこもりの方と障がい者を雇用することにより社会につなげる～
対象とする社会的孤立者	・移住、Uターン希望者 ・持ち家の継承に悩む一人暮らしの高齢者	・子育て中で働く場がない女性	・引きこもりの方 ・孤立する精神障害のある人	・引きこもりの方 ・福祉作業所の利用者
採択時助成額	5,036,032 円	6,754,899 円	4,857,533 円	7,120,192 円

● **パーパス 私たちの存在意義**

**想いのあるお金を地域で循環させるしくみ**

私たちは、地域資源・精神風土を最大限活かしながら、南砺各地の取組みが連携しあい、南砺全体の自立循環の姿を描き出し、「この地の誇り」を次世代にバトンタッチしていくことを大切にしています。

南砺の新たな暮らし方を創出する次世代を担う若者や女性等の活気溢れる活動等を皆で支援し、未来のこども達に、南砺の未来資本を創りあげ、繋いでいきたいと思えます。(設立趣意書より抜粋・一部改変)

● **スローガン 私たちの存在**

南砺の100年後へ「ひと」と「未来」をつなぐ

地域をよくしたい  
団体・ひとを  
応援します!!



● **ミッション**

「ものがたり」をつくる人を育む

ものがたり(事業)をつくる人とは

「南砺に対する地域愛と利他の気持ちを持ち、地域をよりよくしたいと行動できる市民」と定義します。

様々な形の支援(資金的支援・非資金的支援)によって、地域と市民の自立性を高めることで地域の持続可能な社会の実現に貢献します。

● **中長期ビジョン**

小さな「ものがたり」を繋ぎ、未来への希望を紡ぐ存在となる

「ものがたりをつくる人」+「地域の人」から信頼されている。

「ものがたりをつくる人」を支援できるリソース(人・志金・モノ・情報)がある。

「ものがたりを聴く人」は、次第に「語る人」となり、いつしか自ら「ものがたりをつくる人」へと変容していく。

それらを促進することで「ものがたりをうみだしたい」という空気をつくる。

● **コミュニティ財団**

私たちは、地域性、市民性をもった「コミュニティ財団」です

▶ **地域性**

- ・全国を対象とせず、地域に根差した組織であること
- ・地域が持つ、文化、暮らし、課題に寄り添い  
地域のための組織であること

▶ **市民性** ~市民のために市民がつくる

- ・特定の企業や個人、行政機関などが設立したものではない、市民立の組織であること
- ・市民一人ひとりの課題解決を支える意思が生み出したもの

財団への寄付

公益活動の活動資金へのご協力を

南砺市内では、様々な公益活動が多数行われていますが、それらの活動への財源や関心を持つ方はまだまだ多くありません。そこで、(公財)南砺幸せ未来基金では、地域が暮らしやすく、豊かになることを目指し、「寄付文化の普及啓発」を進めています。皆さんの善意の思いをカタチにすることで、地域課題解決への取組が加速し、次の社会参加の機会を生み出し循環していきます。南砺市の未来を応援してください!

南砺市の未来と一緒に創りましょう!

▶ **会員区分**

1. サポーター会員制度(継続での寄付)  
個人会員/法人会員
2. 一般寄付(単発での寄付)

【寄付金控除】(公財)南砺幸せ未来基金への寄付は税制優遇の対象となります。支援していただいた寄付は財団を通じ、南砺のまちづくりを目的とする団体の活動支援や活動を支える基金の運営等のために使用させていただきます。一方で寄付者は「寄付金控除」という税の優遇処置を受けることができます。寄付をすることにより「応援したい!」「頑張ってもらいたい!」という思いを実行できると同時に、税の軽減という特典を受けられることになります。

遺贈寄付

「志と資金」のマッチング相談窓口

遺言によって、財産の全部または一部を法定相続人または法定相続人以外の人に無償で譲渡(贈与)することを遺贈寄付といいます。

世界的に先進国が高齢化する中で、諸外国でも遺贈寄付の役割が改めて注目されています。少子高齢化社会において、すべての社会課題の解決を税金と行政だけで担うことが困難になってきています。そうした中で自分らしい人生の集大成の在り方をかなえ、次世代のために、遺贈寄付を通じて社会への「恩返し」をしようとする人たちが少しずつ増えてきているのが日本においても見られます。

▶ **遺贈寄付**

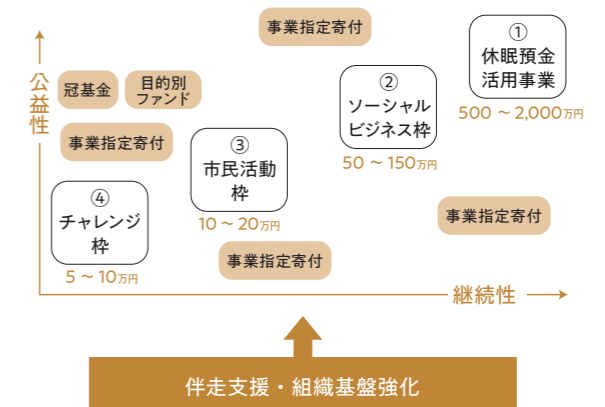
- ・遺言による寄付(遺贈)
- ・相続財産の寄付
- ・信託による寄付

(公財)南砺幸せ未来基金は、全国レガシーギフト協会の加盟団体(いそぎ寄付の窓口)です。

助成

「南砺幸せ未来基金」の多様な助成事業展開

自然と共生しながら地域の資源を活用することで自立度を高め、安心して暮らせる持続可能な自立循環型社会を目指す市民活動を推進しています。その中で、地域や団体が地域資源を活かした取り組みを実践していくことを重要としており、その活動を支援することを目的として、本助成事業を実施し、その事業する上で必要となる資金面での支援を行います。この助成事業は皆さまのあたたかい寄付金を原資に実施しています。



▶ **事業分野** 以下のうちいずれかにあてはまる事業

- ア. 暮らしを支える事業
- イ. 森里川海のつながりを保全する事業
- ウ. 生業・起業・ものづくりを支える事業
- エ. 地域の食と農業を支える事業
- オ. 子ども・若者を支える事業
- カ. 再生可能エネルギーを支える事業
- キ. 地域の歴史・土徳文化を支える事業

- ① 休眠預金活用事業(地域課題解決事業) 事業規模 500~2,000万円
- ② ソーシャルビジネス枠(事業化支援) 事業規模 50~150万円  
地域課題の解決を「ビジネスの手法」で取り組む事業を支援する。地域における新たな雇用の創出、働きがい、生きがいを生み出し、地域コミュニティの活性化に寄与するもの。
- ③ 市民活動枠(市民社会活動支援) 事業規模 10~20万円  
公益的な利益の増進を目的とし、市民が主体となって社会的な課題の解決に取り組む活動を支援するもの。
- ④ チャレンジ枠(初めての挑戦を応援) 事業規模 5~10万円  
初めて事業に取り組む方向け。夢やチャレンジの第一歩を応援する。企画書の立て方から伴走し、支援者を巻き込みながらステップアップできるよう支援するもの。